

I 神は、神に信頼し、絶えず祈る事、しつこく、あきらめず、何度も祈ることを神は喜ばれる。

祈りとは、ただの願い事を神に知らせる事ではなく、私たち自身を愛し存在を喜んでおられる父なる神との親しい交わり。

親が、子どもの願いを知っていても、それを子が親に正直に打ち明け真実に会話をし交わってくれる事を喜ぶように、御父は、子である私たちとの交わりを心から喜ばれる。

II 「だからこう祈りなさい」：9。

呼びかけの深い意味→「天にいます」=天と地の造り主。全知全能、偉大な聖なる神。

本来は罪ある私たちは、決して近づけないお方に、御子の十字架の血の大いなる恵みのゆえに近づけている事を深く思い起こす。

御父は、子である私たちに何が真に益か御存知。全能の父なる神は、聖なる愛をもって私たちを見つめ、私たちのあらゆる必要を知っていて下さる。私達のかすかな溜息も聴き分け、永遠の変わらない愛をもって愛して下さい。

御父が一番望んでおられるのは、私たちの祝福、幸い、喜び。

さらに御父は「私たちのうちに働く力によって、私たちの願うところ、思うところのすべてを越えて豊かに施すことのできる方」(エペソ3：20)。

御父は、子である私たちを恵もうと願っておられる。御父の全能の力には限界がない。主にある私たちの生涯は、神御自身の恵みによるすべての栄光と霊的富をもって富まさせていただく事ができる。願い事を捧げる前に、このような偉大で愛に満ちた御父の御前にいるという事をはっきり自覚して祈りたい。

これが主の祈りの祈り方。

順序に注目→初めの三つは、神の栄光に関するもの。残りの三つは、私たち自身に関係がある。主の祈りの順序は大切。

1. 「御名があがめられますように」：9。

御名とは神御自身を指す。神御自身が聖別され、崇拝され、神聖にされますように。

神の御名、御性質(御力、自存、愛、聖)、みわざ、すべてが全世界でほめたたえられますように。全世界が、頭をたれて神を崇め、敬い、賛美し、礼拝し、褒め称え、感謝するようという燃えるような祈り。

2. 「御国が来ますように」：10。

神は、悪魔の国、支配があるにもかかわらず、やがて御自身の国を設立する事を啓示して下さい。

主は宣教を始められた時「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから」と言われた。

御国の真の意味は、「神の統治、支配」。御国は三つの面がある。

①御国はある意味ですでに來ている。

「わたしが、神の指によって悪霊どもを追い出しているのなら、神の国はあなたがたに來ているのです」(ルカ11：20)。

私たちの罪のために十字架で死に、死に勝利し、復活された全能の主は、神としての主権、力、支配力を行使し、この2016年間、世界中の一人一人（私たちも）を悪魔の支配（国）から救い出して御自身の国（支配）に入れておられる。

②御国はまた、今この瞬間、ここに主を信じ、主に従うすべての人の心と生活の中にある。

御国は、教会の中に、真のキリスト者すべての心の中に現存する。

③やがて主が再臨なさり、御国が到来しようとしている。主は今もみわざを行っておられ、御国が完成するまで続けられる。

この祈りは「神の国、御支配が人々の心に来るようにという偉大な切望」。神の御支配という御国が私たち自身の心に拡大するようにという祈り。

私たちがまず神を礼拝し、生涯を神に明け渡し、神に支配され導かれる度合いに応じて、御国は私たちの心の中に入って来る。

本日の「みこころがおこなわれますように」は、前の「御国が来ますように」と深い繋がりがあある。つまり、まず、私の心に御国＝自我（自分のお心）の支配ではなく神の御支配（神の御心）が来ますようにとの祈り。

Ⅲ「みこころが天でおこなわれるように」。

1. 天では神のみこころは常に完全に行われている。御使いや先に天に召された聖徒たちの霊が今、みこころを行っている。

みこころが「地でも行われますように」＝まず、私たち自身が、自己中心の願望ではなく、あなたの御心に従えますように。そのためには、御言葉と祈りを通して御心を知って行くことが出来ますように。

「わが父よ。できますならば、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願うようにではなく、あなたのみこころのように、なさってください」マタ26：39。

この祈りから教えられる事。

①正直に自分の願いを祈って良い事。

②と同時に、祈りの最後に、「御心のようになさってください」と神に委ねて祈る事の霊的な大切なバランス。私たちも世界中の人々も主を信じ御心に従えますように。自分の願い通りに事が進まなくても、あなたの最善の御心が行われますように。

2. 神の御心を知る助けとなる事。

①日頃から御言葉をよく読み、神の御心が記してある神の御言葉に親しむ。

②神と親しく交わる祈り。「御心を示して下さい」との祈り。

③神は色々な経験、訓練を通して、御心を判断する、識別力を与えて下さる。

「経験によって良い物と悪い物とを見分ける感覚を訓練された人たち」ヘブル5：14。

④今、与えられている状況から総合的に判断する。

「雀の一羽でも、あなたがたの父のお許しなしには地に落ちることがありません」

マタイ10：29。

一つ一つの出来事には、神の御支配が、意味がある。私たちの頭では、すぐに理解できない事にも。

⑤主を信じている人、信頼できる人に相談する。お互い、自分の事は、客観的になれない。冷静な判断を聞けることは幸いである。

但し、その人に言われたからではなく、最終決断は、主に祈り自分です。その結果も自分で受け止める。そこに真の成長が生まれる。

励まし：主権者である神の御計画が最善の計画。どんな事でも御心に委ねるなら、神は私達よりも良い管理がおできになる。

神の御支配の下にあるもので、そこからはみ出してしまうものは、一つもない。

神は私達の必要についてそのすべての詳細に至るまで知っておられる。

神は、ご自分の時に、ご自身の目的の為に、与え、導き、事を始め、とどめ、保ち、変え、正す事がおできになる。

祈り：御心がなりますように！